

⑭ 専門演習Ⅰ（3年次）中村 秀郷（ナカムラ ヒデサト）ゼミ

<p><b>担当科目</b></p>	<p>司法福祉論、精神保健福祉論ⅠⅡⅢ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ、精神科リハビリテーション学ⅠⅡほか</p>
<p><b>専門演習テーマ</b></p>	<p>司法福祉、精神保健福祉</p> <p>&lt;キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪・非行、刑事司法と福祉、保護観察、医療観察、精神障害、依存症</li> <li>・ 触法精神障害者、累犯障害者、高齢犯罪者、犯罪被害者</li> </ul>
<p><b>専門演習内容</b></p>	<p>&lt;専門演習Ⅰ・Ⅱについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年後期（専門演習Ⅰ）は、自身の関心を明確化し、卒業論文の構想発表及び研究計画書作成を目標とします。</li> <li>・ 4年次（専門演習Ⅱ）は、研究・論文指導を中心に行い、10月末卒論完成を目指します。また、ゼミ生による国家試験等に向けた継続的なピア学習を検討します。</li> </ul> <p>&lt;ゼミ内容について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ生が関心のあるテーマに沿って、文献を読み、グループディスカッション、課題のプレゼンテーションを通してテーマの理解を深めます。</li> <li>・ チーム作業として、グループで文献収集やフィールド調査（専門職等へのヒアリングなど）を行い、報告発表によりゼミ全体で共有をします。</li> <li>・ 卒業論文・ゼミ論文に向けた学習（ピアレビューや添削指導、文献レビューや調査分析方法の学習など）を行います。</li> <li>・ 他にも刑事裁判の傍聴、更生保護施設、刑務所、福祉施設等の見学、当事者の集まりへの参加など、ゼミ生の提案・企画を随時検討します。</li> </ul>
<p><b>卒業論文</b></p>	<p>卒業論文、またはゼミ論文の作成を必須とします（ゼミ生による共同研究も可）。</p>
<p><b>ゼミの選考方法</b></p>	<p>「専門演習一次申込書」に「志望理由書」を添付して提出してください。</p> <p>志望理由書は、A4用紙1，2枚程度に、①ゼミ志望理由・ゼミでやりたいこと、②関心のある研究テーマとその内容、③希望進路、④ゼミで発揮できる個性・能力、⑤国家試験（社会福祉士、精神保健福祉士等）・公務員試験合格など各自の目標に向けての意気込みなどをアピールしてください。</p>
<p><b>学生への要望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記専門演習テーマ&lt;キーワード&gt;に関心のある方を募ります。</li> <li>・ ゼミ運営はメンバーで役割分担して行います。みんなでゼミを作り上げるためにも積極的な発言（ディスカッション）・企画行動（フィールドワーク）を求めます。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ内容や進め方はメンバーで話し合っ決めてみましょう。</li> <li>・ 国家試験・公務員試験合格など各自の目標をみんなで協力して目指しましょう。</li> <li>・ ゼミを通して、仲間と共に考え、協力し、成長していくことを期待します。</li> </ul>